

その他の債権・債務 第3問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適当と思われるものを選ぶこと。

1. 従業員の出張にあたり、旅費の概算額¥150,000を現金で渡した。
2. 1.の従業員が出張から戻り旅費を精算したところ、残金が¥30,000あったので現金で返済を受けた。
3. 得意先より現金¥300,000が送金されてきたが、その内容が不明である。
4. 3.の送金は、売掛金に対するものである旨、得意先より連絡を受けた。
5. 従業員の出張にあたり、旅費の概算額¥180,000を渡していたが、本日出張より戻り、旅費の精算を行ったところ、¥20,000不足したとのことなので、現金で支払った。
6. 得意先より普通預金口座に振り込みのあった¥600,000は、その内容が不明だったため仮受金として処理しておいたが、本日、得意先より連絡があり¥600,000のうち¥400,000は売掛金に対するものであり、残金は商品代金の内金としての振り込みであったことが判明した。
7. 酒屋を営む和歌山酒造(株)は、¥10,000分のビールを販売し、代金はビール券で受け取った。
8. 和歌山酒造(株)は、7.で受け取ったビール券を発行元に引き渡し換金請求を行ったところ、ただちに同額が普通預金口座に振り込まれた。
9. 奈良商事(株)は、営業所を移転することになり、新事務所の敷金¥1,000,000、不動産会社への手数料¥500,000、1か月分の家賃¥500,000を普通預金口座から振り込んだ。
10. 商品¥200,000をクレジット払いの条件で販売した。なお、信販会社へのクレジット手数料は販売代金の5%であり販売時に認識する。

その他の債権・債務 第3問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仮払金	150,000	現金	150,000
2	旅費交通費 現金	120,000 30,000	仮払金	150,000
3	現金	300,000	仮受金	300,000
4	仮受金	300,000	売掛金	300,000
5	旅費交通費	200,000	仮払金 現金	180,000 20,000
6	仮受金	600,000	売掛金 前受金	400,000 200,000
7	受取商品券	10,000	売上	10,000
8	普通預金	10,000	受取商品券	10,000
9	差入保証金 支払手数料 支払家賃	1,000,000 500,000 500,000	普通預金	2,000,000
10	クレジット売掛金 支払手数料	190,000 10,000	売上	200,000

【解説】

10. 支払手数料； $¥200,000 \times 5\% = ¥10,000$